

科目名	産業保健管理学論文指導	
科目責任者	堀江正知 (産業保健管理学 教授)	
開講時期:	3～4年次	単位数: 6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職場に広く存在する危険有害要因(ハザード)のうち、温熱、騒音、重要物、化学物質等の中から自らが選択したものについてリスク低減対策に寄与する科学論文をまとめる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自らが選択した危険有害要因(ハザード)に関するリスク低減対策の課題を抽出できる。</li> <li>2) 自らが選択した危険有害要因(ハザード)に関するリスクの見積りの方法を提案できる。</li> <li>3) 自らが選択した危険有害要因(ハザード)による人体の反応や健康影響を説明できる。</li> <li>4) リスク低減対策の課題を解決するための科学的な知見や技術を収集できる。</li> <li>5) リスク低減対策を職場で実際に適用できる具体的な手法を検討し、その実施を提案できる。</li> <li>6) リスク低減対策を実施した結果について生物統計学を応用して評価することができる。</li> <li>7) リスク低減対策を実施した結果を医学的に考察し、課題を記述できる。</li> <li>8) 得られた研究成果から今後の展望を記述することができる。</li> </ol>		
● 評価方法	学会・討論会における発表(50%)、報告書または論文(50%)で総合評価する。	
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。	